

# 【記入例】

## 事業実施計画

### 1 取組主体の概要

団体名及び所在地	(団体名) ○○加工用キャベツ出荷組合	
	(所在地) ○○県○○市○○町○丁目○番地○号	
代表者名	組合長 ○○ ○○	<b>※職位を必ず明記して下さい。</b>
担当者名	△△ △△	
	(TEL) 012-345-6789	(FAX) 012-345-6789
	(E-mail) <a href="mailto:abcd@efg.hi.jp">abcd@efg.hi.jp</a>	

- (注) 1. 担当者は、本事業の実施及び会計手続等の窓口となる者を記載する。  
 2. **関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。**

**※ 公募要領及びチェックリストに基づき提出して下さい。**

### 2 取組期間及び対象品目

取組期間	令和4年度～6年度	対象品目	キャベツ (11月又は1月～5月出荷)
用途	加工・業務用		

- (注) 1. 「用途」には、加工・業務用、生食用又は輸出用のいずれかを記載する。  
 2. 「対象品目」については、対象出荷期間が定まっている品目は、品目名の後に出荷期間を

**※ 出荷期間が特定されていない品目は、出荷期間を記載する必要はありません。**

#### ○加工・業務用

たまねぎ、にんじん、ねぎ、ほうれんそう、スイートコーン、えだまめ、ブロッコリー、ごぼう、トマト (8～10月出荷)、セルリー (6～12月出荷)、にんにく、しょうが、さといも、えんどう (1～7月又は11～12月出荷)、キャベツ (11月又は1～5月出荷)、レタス (11～3月出荷)、かぼちゃ (11～6月出荷)、だいこん (4～7月又は10月出荷)、アスパラガス (2～5月又は9～11月出荷)

#### ○生食用

かぼちゃ (11～6月出荷) 及びトマト (8～10月出荷)

#### ○輸出用

輸出事業計画に位置付けられた野菜 (かんしょ、ばれいしょを除く。)  
 複数の品目を位置付けている場合は、そのうち1品目が対象。

### 3 産地の現状・課題 **※本事業の取り組みで解決を目指す課題等を記述する。**

(例) ○○の農業は、これまで、□□等の作物生産を主体とした農業生産が展開されており、○○年頃より、○○の栽培を進めてきたところであるが、□□については・・・のような問題が生じており、○○等により産地の生産基盤を強化することが課題となっている。  
 (※ 記入例を参考に営農に関する現状 (栽培作物・面積)、野菜の生産状況、課題について具体的に記載すること。)

### 4 産地の取組 (概要) **※3の記述を踏まえ、5の目標設定を念頭に、本事業での取組内容や事業終了後についてを6, 7行以上となるよう記載する。**

(例) 初年度は、□□を・・・し、単位面積当たりの収量を増加させるとともに・・・。目標年度には・・・により・・・していきたい。さらに、目標年度以降は・・・。  
 (※記入例を参考に本事業の実施を踏まえた今後の展開方法について記載すること。)

用途が加工・業務用または生食用の場合は、①と②を記入し、③を「—」で埋めてください。

用途が輸出用の方は①を「—」で埋めて、②と③を記入します。

③については「輸出用」の資料をご覧ください。

## 5 目標

+

指標項目	現状値 (令和〇年度)	目標値 (令和 5 年度)
① 対象出荷期間における出荷割合の確保	〇〇.〇%	〇〇.〇%

- (注) 1. 加工・業務用又は生食用の場合は記載すること。  
 2. 各項目の数値の根拠資料として、関係書類を添付すること。(現状値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載することとして、直近のデータを採用できない場合は、関係書類として理由書を提出すること。)  
 3. 各項目の数値は、小数点第2位を四捨五入すること。

指標項目	現状値 (令和〇年度)	目標値 (令和 5 年度)	成果目標
② 対象出荷期間における出荷量の増加	〇〇.〇t	〇〇.〇t	〇〇.〇%増加
換算面積	〇〇.〇ha		

- (注) 1. 各項目の数値の根拠資料として、関係書類を添付すること。(現状値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載することとして、直近のデータを採用できない場合は、関係書類として理由書を提出すること。)  
 2. 各項目の数値は、小数点第2位を四捨五入すること。  
 3. 換算面積は、「6 対象契約の計画」に記載している「単収」を使用して算出した面積とすること。  
 4. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

指標項目	現状値 (令和〇年度)	目標値 (令和 5 年度)	成果目標
③ 輸出用出荷量の増加	〇〇.〇t	〇〇.〇t	〇〇.〇%増加
換算面積	〇〇.〇ha		

- (注) 1. 輸出用の場合は記載すること。  
 2. 各項目の数値の根拠資料として、関係書類を添付すること。(現状値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載することとして、直近のデータを採用できない場合は、関係書類として理由書を提出すること。)  
 3. 各項目の数値は、小数点第2位を四捨五入すること。  
 4. 換算面積は、「6 対象契約の計画」に記載している「単収」を使用して算出した面積とすること。  
 5. 輸出用の対象契約の相手方に、加工・業務用の対象契約の実需者を含む場合は、輸出用の対象契約の実需者と区別して記載すること。  
 6. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

5 目標

指標項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)
① 対象出荷期間における出荷割合の確保	17.5%	20.0%

- ※ 直近年において、**事業ほ場**における契約取引の全体的出荷量のうち、対象出荷期間への出荷割合を記載する。  
⇒契約取引の実績がない場合は、「0%」と記入する。
- ※ **対象出荷期間における契約取引の出荷割合は「6対象契約の計画」を踏まえて、算定根拠資料を添付すること。**

- ※ **対象出荷期間が特定されている品目においては、目標値は20%以上であること。対象出荷期間が特定されていない品目においては、現状値及び目標値の欄には「100%」と記載する。**
- ※ **採択ポイント対象外ですが、目標値を達成できない場合は、改善計画等を提出していただきます。**

<数量契約の場合>

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)
数量契約の場合	契約数量 (t)	200.0t	300.5t	300.5t	300.5t
	換算面積 (ha)	6.6ha	10.0ha	10.0ha	10.0ha
	契約数量のうち対象出荷期間における契約数量 (t)	35.0t	46.1t	46.1t	60.1t

対象出荷期間が9月～12月の場合、  
 現状値：35.0t ÷ 200.0t = 17.5%  
 目標値：60.1t ÷ 300.5t = 20.0%

<面積契約の場合>

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)
面積契約の場合	契約面積 (ha)	6.6ha	10.0ha	10.0ha	10.0ha
	契約面積のうち対象出荷期間における契約面積 (ha)	1.0ha	2.0ha	2.0ha	2.0ha

対象出荷期間が9月～12月の場合、  
 現状値：3.0t (1.0haの面積における数量) ÷ 200.0t (6.6haの面積における数量) = 1.5%  
 目標値：60.1t (2.0haの面積における数量) ÷ 300.5t (10.0haの面積における数量) = 20.0%

<事業ほ場の場合>

指標項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	成果目標
② 対象出荷期間における出荷量の増加	35.0t	60.1t	71.7%増加 ※出荷量で計算すること。 ※目標値を現状値で除して求める(表記は「171.7%」ではなく、「71.7%」とする)。 ※10%以上であることをご確認ください。
換算面積	1.2ha		

現状値欄が「0t」の場合は、成果目標欄に「皆増」と記載する。

(注) 1. 各項目の数値の根拠資料として、関係書類を添付すること。(現状値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載することとして、直近のデータを採用できない場合は、関係書類として理由書を提出すること。)

2. 各項目の数値は、小数点第2位を四捨五入すること。
3. 換算面積は、「6 対象契約の計画」に記載している「単収」を使用して算出した面積とすること。
4. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

※ 直近年において、**事業ほ場**や**取組主体が管理する全体ほ場**で、本計画の対象品目及び用途で出荷することを目的として取組主体が**契約取引**を行った数量を記載する。  
⇒取組主体として契約取引の実績がない場合は、「0t」と記入する。

※ 目標値欄には、取組主体全体の対象品目に係る契約出荷量を記載する(現状値+増加出荷量)。

【数量契約の根拠】 対象出荷期間が9月～12月の場合

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)
数量契約の場合	契約数量(t)	200.0t	300.5t	300.5t	300.5t
	換算面積(ha)	6.6ha	10.0ha	10.0ha	10.0ha
	契約数量のうち対象出荷期間における契約数量(t)	35.0t	46.1t	46.1t	60.1t

現状値

目標値

【面積契約の根拠】 対象出荷期間が9月～12月の場合

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)
面積契約の場合	契約面積(ha)	6.6ha	10.0ha	10.0ha	10.0ha
	契約面積のうち対象出荷期間における契約面積(ha)	1.0ha	2.0ha	2.0ha	2.0ha

現状値

目標値

現状値・目標値の面積における各々の数量を記載する。

<取組主体が管理する全体ほ場の場合>

指標項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	成果目標
② 対象出荷期間における出荷量の増加	70.7t	80.1t	13.3%増加
換算面積	2.4 ha		

(注) 1. 各項目の数値の根拠資料として、関係書類を添付すること。(現状値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載することとして、直近のデータを採用できない場合は、関係書類として理由書を提出すること。)

2. 各項目の数値は、小数点第2位を四捨五入すること。
3. 換算面積は、「6 対象契約の計画」に記載している「単収」を使用して算出した面積とすること。
4. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

【根拠】

取組主体が管理する全体ほ場の面積及び出荷量が変わる資料を添付すること。

(例) 対象出荷期間が9月～12月の場合

令和4年1月末時点

取組主体が管理する全体ほ場・・・20.0ha (うち、事業ほ場は10.0ha)  
 全出荷数量・・・420.0t (うち、事業ほ場は200.0t)  
 対象出荷期間における出荷量・・・ 70.7t (令和3年度) 現状値  
 ・・・・ 80.1t (令和6年度) 目標値

**現状に対して、過大な目標設定とならないよう注意が必要です(目標設定の妥当性を必ず検証し、根拠資料として目標値の妥当性を証する資料を添付願います)。また、現状値と目標値とも事業採択ポイントの対象となりますので、数値の正確性に留意願います。**

6 対象契約の計画

**※数量契約の場合**

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)
相手方の業態 <i>*該当する業態の□に✓を入れて下さい。</i>	【加工・業務用】 ☑カット事業者 ☑弁当・総菜 □飲料 □給食 :	【加工・業務用】 ☑カット事業者 ☑弁当・総菜 □飲料 □給食 :	相手方の業態は、現状の相手方、1年目～3年目を見通して可能性のある業態を幅広に考えて、 <b>応募する用途の中の該当するものに☑してください。</b>		
	【生食用】 □小売店 □その他 ( )	【生食用】 □小売店 □その他 ( )			
	【輸出用】 □小売店 □加工事業者 :	【輸出用】 □小売店 □加工事業者 :	「輸出用」の資料をご覧ください。		
	輸出先国 <i>※業態ごとに区別して記載すること</i>	輸出先国 <i>※業態ごとに区別して記載すること</i>			
契約期間		令和3年9月～令和3年12月	令和4年9月～令和5年12月	令和5年9月～令和5年12月	令和6年9月～令和6年12月
数量契約の場合	契約数量 (t)	200.0 t	35.0 t / 200.0 t = 17.5%	300.5 t	300.5 t
	換算面積 (ha)	6.6 ha	10.0 ha	10.0 ha	10.0 ha
	契約数量のうち対象出荷期間における契約数量 (t)	35.0 t	<b>※換算面積は、「7 事業対象面積」を下回らない。</b>		
面積契約の場合	契約面積 (ha)	—	60.1 t / 300.5 t = 20.0%	—	—
	契約面積のうち対象出荷期間における契約面積 (ha)	—	—	—	—

単収 ← 3,000 kg / 10 a

該当しない項目の欄には、「—」を記載する。

換算面積は、契約数量を(注4)の単収で除した面積とすること。

契約期間は出荷期間の前後に**余裕をもって設定**すること。(年月のみで、日付は不要です。)出荷期間が特定されている品目は、当該期間が含まれていることに留意。

**【注意点】**  
根拠資料により、取組主体が所在する都道府県の平均的な単収等を記載してください。

- (注) 1. 契約方法に合わせて契約数量又は契約面積（小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。）の該当する方を記載する。
2. 現状の数値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載する。
3. 数量契約の場合、換算面積（小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。）は、契約数量を、単収で除して記載する。
4. 単収は、原則として、取組主体が所在する都道府県の平均的な単収又はこれに準ずる単収とする。
5. 輸出用の場合は、輸出先国を記載すること。
6. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

※ 公募要領及びチェックシートに基づき提出して下さい。

### 【参考】「5 目標」及び「6 対象契約の計画」の記載における留意事項

「5 目標」の「① 対象出荷期間における出荷割合の確保」の現状値及び目標値を記載するに当たって、数量契約の場合は、本計画の「6 対象契約の計画」に記載された契約数量に基づいて算出した割合と整合性がとれるようご留意願います。

- ・現状値・・・「6 対象契約の計画」の現状値の欄に記載の「契約数量」と「対象出荷期間における契約数量」により、算出した契約取引の出荷割合を記載。

【計算式】対象出荷期間における契約数量（現状値）／契約数量（現状値）＝現状値

- ・目標値・・・「6 対象契約の計画」の3年目の欄に記載の「契約数量」と「対象出荷期間における契約数量」により、算出した契約取引の出荷割合を記載。

【計算式】対象出荷期間における契約数量（3年目）／契約数量（3年目）＝目標値

なお、補助面積要件を延べ面積にて満たした場合は、契約数量については延べ面積での数量（年間収量）で記載すること。

対象契約の取引が、成果目標年度（令和6年度）までに継続的かつ安定的に行われるように、計画性をもって「6 対象契約の計画」を作成してください。

6 対象契約の計画

※面積契約の場合

		現状 (令和3年度)	1年目 (令和4年度)	2年目	3年目		
相手方の業態 *該当する業態の□に✓を入れて下さい。		【加工・業務用】 <input checked="" type="checkbox"/> カット事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 弁当・総菜 <input type="checkbox"/> 飲料 :	【加工・業務用】 <input checked="" type="checkbox"/> カット事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 弁当・総菜 <input type="checkbox"/> 飲料 :	相手方の業態は、現状の相手方、1年目～3年目を見通して可能性のある業態を幅広く考えて、応募する用途の中の該当するものに☑してください。			
		【生食用】 <input type="checkbox"/> 小売店 <input type="checkbox"/> その他 ( )	【生食用】 <input type="checkbox"/> 小売店 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		【輸出用】 <input type="checkbox"/> 小売店 <input type="checkbox"/> 加工事業者 :	【輸出用】 <input type="checkbox"/> 小売店 <input type="checkbox"/> 加工事業者 :			「輸出用」の資料をご覧ください。	
		輸出先国 ※業態ごとに区別して記載すること	輸出先国 ※業態ごとに区別して記載すること				
契約期間		令和3年9月～令和3年12月	令和4年9月～令和4年12月	令和5年9月～令和5年12月	令和6年9月～令和6年12月		
数量契約の場合	契約数量 (t)	—	—	—	—		
	換算面積 (ha)	—	—	—	—		
	契約数量のうち対象出荷期間における契約数量 (t)	—	※契約面積は、「7 事業対象面積」を記載する。 なお、契約面積は、「8 事業ほ場面積」を上回らない。				
面積契約の場合	契約面積 (ha)	6.6 ha	10.0 ha	10.0 ha	10.0 ha		
	契約面積のうち対象出荷期間における契約面積 (ha)	1.0 ha	2.0 ha	2.0 ha	2.0 ha		

単収	3,000 kg/10a
----	--------------

該当しない項目の欄には、「—」を記載する。

契約期間は出荷期間の前後に余裕をもって設定すること。(年月のみで、日付は不要です。) 出荷期間が特定されている品目は、当該期間が含まれていることに留意。

**【注意点】**  
 根拠資料により、取組主体が所在する都道府県の平均的な単収等を記載してください。

2. 現状の数値は、原則として計画策定時の直近のデータを記載する。



3. 数量契約の場合、換算面積（小数点第2位を切り捨て、ha 単位で記載する。）は、契約数量を、単収で除して記載する。
4. 単収は、原則として、取組主体が所在する都道府県の平均的な単収又はこれに準ずる単収とする。
5. 輸出用の場合は、輸出先国を記載すること。
6. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

公募要領及びチェックシートに基づき提出して下さい。

#### 【参考】「5 目標」及び「6 対象契約の計画」の記載における留意事項

「5 目標」の「① 対象出荷期間における出荷割合の確保」の現状値及び目標値を記載するに当たって、面積契約の場合は、本計画の「6 対象契約の計画」に記載された契約面積からの出荷数量に基づいて算出した割合と整合性がとれるようご留意願います。

なお、現状値及び目標値の根拠資料として、別途当該出荷数量の管理（事業ほ場における「全出荷量」と「対象出荷期間における出荷量」が確認できる資料）が必要（また、毎年の実施状況報告書にも要添付）となるので、併せてご留意願います。

- ・現状値・・・「6 対象契約の計画」の現状値欄に記載の「契約面積」と「契約面積のうち対象出荷期間における契約面積」からの出荷数量により、算出した契約取引の出荷割合を記載。

【計算式】対象出荷期間における出荷量（現状値）／全出荷量（現状値）＝現状値

- ・目標値・・・「6 対象契約の計画」の3年目の欄に記載の「契約面積」と「契約面積のうち対象出荷期間における契約面積」からの出荷数量により、算出した契約取引の出荷割合を記載。

【計算式】対象出荷期間における出荷量（3年目）／全出荷量（3年目）＝目標値

なお、補助面積要件を延べ面積にて満たした場合は、契約面積については実面積における面積で記載すること。

対象契約の取引が、成果目標年度（令和6年度）までに継続的かつ安定的に行われるように、計画性をもって「6 対象契約の計画」を作成してください。

7 補助金所要額

事業対象面積 (ha)	単価 (万円/10a)	補助金額 (円)	備考
10.0ha ※6の「換算面積」又は「契約面積」を上回らない。また、延べ面積でなく、実面積を記載。	15	15,000,000円	※延べ面積の場合は、備考欄に、『延べ面積：●●.●(ha)』と記載する。

8 事業内容 取組期間（令和4年度～令和6年度）※全対策項目について、事業ほ場の全域で取り組む。

①生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組			
対策項目	取組内容	事業ほ場面積 (ha)	
		1年目	2年目
a 事業ほ場の設定 3年間の常設の場合は、その旨言及する。	加工・業務用ほ場を設定し、当該ほ場に当事業を実施していることが分かる表示標を、ほ場ごとに最低1ヶ所設置する。 ※表示標を設置するなど、どのようにほ場を特定するのかが分かるように記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
b 実需者等との一定期間の事前契約の締結	実需者と事前に契約を締結する。 ※出荷前までに契約を締結する旨を記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
c 新規作型の導入 ※輸出用の場合は記載しない。	10月～11月の期間の出荷に適した品種(●●)や作型を導入する。 ※品種や栽培方法など具体的に記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
d 生産コストの低減	播種期や定植機を導入し、生産コストの大半を占める労働コストの低減を図る。 ※低減策や方法を具体的に記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
e 流通コストの低減	大型コンテナによる出荷を行うことにより、流通コストの低減を図る。 ※低減策や方法を具体的に記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
f トレーサビリティシステム等の活用	実需者からの求めがあれば、速やかに生産者が特定できる体制を構築する。 ※生産者の特定方法を具体的に記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0
g 出荷量の安定に向けた取組	出荷期間の拡大のため、JAの集出荷施設を活用する。 ※貯蔵方法を具体的に記載する。	1年目	10.0
		2年目	10.0
		3年目	10.0

- (注) 1. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。  
 2. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われる面積を記載する。  
 3. 1つの対策項目において、複数の取組を行う場合は、取組内容ごとに記載する。

② 作柄安定技術の導入のための取組 ※「ほ場内容」の記載内容と整合がとれていること。

対策項目	1年目		2年目		3年目	
	取組内容	事業ほ場面積 (ha)	取組内容	事業ほ場面積 (ha)	取組内容	事業ほ場面積 (ha)
a 土層改良・排水対策	・ブラウ耕 ・暗きょ施工 ・高畝栽培	10.05	取組内容には、対策項目に該当するものであり、 <b>実施する見込みのあるものをできるだけ多く記載する。</b>			—
小計	10.05ha				—	
b 病虫害防除・連作障害回避対策	—	—	・苗の消毒 ・忌避灯 ・捕虫機	10.05	・苗の消毒 ・忌避灯 ・捕虫機	10.05
小計	—		10.05ha		10.05ha	
c 地温安定・保水・風害対策	・かん水パイプの設置 ・寒冷紗 ・防風ネット	10.05	—	—	—	—
小計	10.05ha		—		—	
d 土壌改良資材施用	・pH改良剤の施用 ・たい肥	10.05	・pH改良剤の施用 ・たい肥	10.05	—	—
小計	10.05ha		10.05ha		—	
事業ほ場面積 (実面積)	10.0ha		10.0ha		10.0ha	

※「7 事業対象面積」を下回らない。

- 注：1. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。  
 2. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われる面積を記載する。  
 3. 1つの対策項目において、複数の取組を行う場合は、取組内容ごとに記載する。  
 4. 事業ほ場面積 (実面積) 欄は、小数点第2位を切り捨て、ha 単位で記載する。

該当しない項目の欄には、「—」を記載する。

③ 輸出先国の規制やニーズに適合した生産のための取組						
対策項目	1年目		2年目		3年目	
	取組内容	事業ほ場面積 (ha)	取組内容	事業ほ場面積 (ha)	取組内容	事業ほ場面積 (ha)
a 輸出先国の植物検疫や残留農薬基準等に対応した防除等の導入						
小計						
b 輸出先国向けの品種や栽培方法等の導入						
小計						
c 効率的な輸出处の導入						
小計						
d 国際水準GAPや有機JAS等の認証取得等のための取組						
小計						
事業ほ場面積 (実面積)						

用途が加工・業務用または生食用の場合は、この取組は不要です。斜線を引いてください。

用途が輸出用の方は「輸出用」の資料をご覧ください。

- 注：1. 取組内容欄には、取組方法及び使用資材等を記載する。  
2. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われる面積を記載する。  
3. 1つの対策項目において、複数の取組を行う場合は、取組内容ごとに記載する。  
4. 事業ほ場面積（実面積）欄は、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。

ほ場内容

(別添：8の①及び②の明細)

No	事業参加農家名	事業ほ場の所在地(地番)	取組年次	事業ほ場面積(ha)	取組																備考
					※8の①と②の取組の記載内容と整合がとれていること																
					①生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組							②作柄安定技術の導入のための取組									
					a		b	c		d		e		f	g	a		b		c	
内容	年月		内容	年月	内容	年月	内容	年月			内容	年月	内容	年月	内容	年月	内容	年月			
1	AAAA	麻布台1丁目1～2	1年目	0.5	<div style="background-color: #cccccc; border-radius: 20px; padding: 20px; text-align: center;">                     ※ このマスキング部分は、公募時点では記載不要です。                 </div>																
			2年目																		
			3年目																		
2	BBBB	麻布台1丁目3～4	1年目	2.1																	
			2年目																		
			3年目																		
3	CCCC	麻布台1丁目5	1年目	5.3																	
			2年目																		
			3年目																		
4	DDDD	霞ヶ関1丁目1～2	1年目	1.3																	
			2年目																		
			3年目																		
5	EEEE	霞ヶ関1丁目1～2	1年目	0.85																	
			2年目																		
			3年目																		
事業ほ場面積(実面積)				10.0ha																	

※8の①と②の事業ほ場面積(実面積)と同じ面積になる。

ほ場内容

No	事業参加農家名	事業ほ場の所在地(地番)	取組年次	事業ほ場面積(ha)	取組								備考
					③輸出先国の規制やニーズに適合した生産のための取組								
					a		b		c		d		
					内容	年月	内容	年月	内容	年月	内容	年月	
1			1年目										<p style="color: red;">用途が加工・業務用または生食用の場合は、この取組は不要です。斜線を引いてください。</p> <p style="color: blue;">用途が輸出用の方は「輸出用」の資料をご覧ください。</p>
			2年目										
			3年目										
2			1年目										
			2年目										
			3年目										
3			1年目										
			2年目										
			3年目										
4			1年目										
			2年目										
			3年目										
5			1年目										
			2年目										
			3年目										
事業ほ場面積(実面積)													

- (注) 1. 事業参加農家名欄には、事業に参加する農家全員をほ場ごとに記載する。(地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可) また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。
2. 事業ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。
3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われる面積(小数点第3位を四捨五入し、ha単位で記載する。)を記載する。
4. 期間中に1つのほ場で対象品目を複数回作付する場合には、ほ場の実面積を記載する。
5. 事業ほ場面積(実面積)欄には、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。
6. 関係書類として、適宜、根拠資料を添付すること。

※ 公募要領及びチェックシートに基づき提出して下さい。

### ※取組着手後のほ場の変更について

本事業においては、取組着手後において、事業ほ場を変更することは想定していません(輪作体系等の取組を実施している場合を除く)。複数年にわたり事業に取り組むことに留意し、長期の利用が確保されているほ場の選定をすること。